

特別委員会 活動報告

人口減少対策調査特別委員会

「帰ってきたいくなるまち」の実現へ 年度内に政策提言

本特別委員会では、Uターンなどのテーマに関して、各団体などとの意見交換や、令和5年8月23日から9月13日までに実施した市の公式LINEを使ったアンケート調査結果などを基に協議を進め、令和5年9月19日に行われた特別委員会にて、政策提言に関する骨格づくりや意見集約、調整などを



PT(プロジェクトチーム)会議で提言書(案)を作成

行うため、特別委員会内に委員6名からなる「政策提言に関するプロジェクトチーム」を結成しました。

「帰ってきたいくなるまち気仙沼」をテーマにUターンに政策を絞り込み、政策提言の骨格づくりから協議を行い、提言項目(案)を作成しました。関係部署との意見交換を経ながら、5回のプロジェクトチーム会議を行い、「気仙沼を巣立つ前に」「気仙沼を離れてから」「気仙沼に帰ってきてから」の3つのステージを意識した提言書(案)を作成しました。令和5年12月25日の全員協議会に政策提言書(案)【中間報告】として提出しました。

今後もプロジェクトチーム会議を開催しながら、委員会内での意見調整を進め、市当局に対し、令和5年度内の政策提言書の提出を目指します。

新庁舎建設調査特別委員会

議場フロアレイアウト、より詳細に

令和5年10月27日の新庁舎建設調査特別委員会議会フロア構成検討小委員会においては、担当課から示された議会フロアの議場と隣接する議会ロビーなどの設計案を協議し、建設に向け、具体的なイメージが徐々に明確になってきました。

議場は、提案された4つの平面図の中から、縦方向が最も長い13.7メートルの案が選ばれました。現在の議場より、やや手狭になる計画中の議場は、奥行きにゆとりを持たせることで、議員の発言台と市当局側の席の間隔が若干広がります。

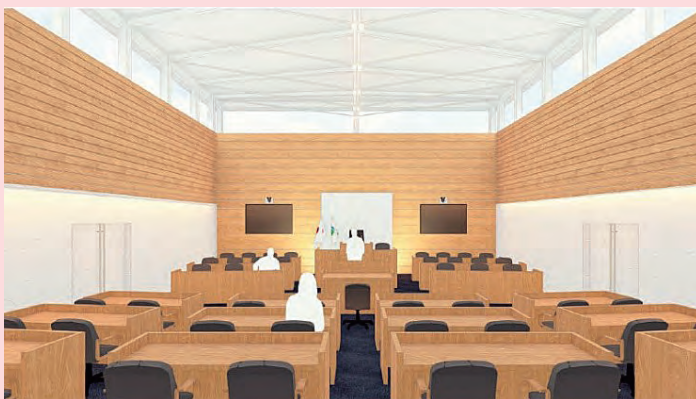
また、議場後方に設けられる24席の傍聴席は、現在より数が減りますが、議場外にモニターを設置するなど、多様な傍聴手段を検討していきます。車椅子席は、傍聴エリアに確保される他、前列議員席のうち2つが、車椅子対応席となります。

東側の議会ロビーには、窓側にハイカウンターテーブルと小児用のベンチスペースを設

置し、展望エリアの機能を兼ね備えます。

その他、議員控室の間仕切りを取り外し可能な固定壁にすること、議場の壁や家具に地域産木材を活用することなどが示されました。

小委員会で取りまとめた意見は、11月22日に開催された新庁舎建設調査特別委員会に報告された後、委員の賛成多数で、今後の新庁舎建設実施計画に反映されることが決定しました。



意思決定機関としての機能を十分発揮するために 気仙沼市議会は改革を進めています



平成23年7月に制定した議会基本条例は、議会の基本理念や議員の責務などを定めています。

平成29年と令和2年に改革の達成度を評価し、改善点を整理しています。議会運営委員会、会派幹事長等連絡会議などにおいて議論を重ね、最近では以下のような改革を実現しました。

議員間討議の導入 〔平成31年2月〕	会議の中で議員同士が議論し、合意形成に努めるのが議員間討議(自由討議)です。議員個人で質疑して当局から答弁を得た後、賛成・反対の討論を経て採決していましたが、その間に議員間討議を行うことで、議会として附帯意見をまとめたり、修正案を検討したりできるようになりました。
議会報告会の改善 〔令和元年5月〕	年1回以上の開催が義務付けられている議会報告会が、当局への要望を聞く場となっていたことから、テーマを設けて政策立案につなげられるように改善しました。またワークショップ形式の意見交換会も導入しました。
常任委員会の再編 〔令和2年5月〕	①総務教育②民生③産業経済④建設の4常任委員会を、①総務教育②民生③産業建設の3常任委員会に再編しました。各常任委員会の定数が6人から8人に増えることで、議論を深めることを目的としています。
議会だよりの改善 〔令和2年5月〕	定例会ごとに発行している議会だよりは、すべての議案を記事に取り上げていましたが、より伝えたい議案を取り上げるようにしました。解説記事や視察報告は議員が手分けして執筆するようになりました。
タブレットの導入 〔令和2年8月〕	議会で配布される議案書や予算書などの膨大な資料が電子化され、会議開催等の案内も郵送から電子メールに切り替えたことで、ペーパーレス化と効率化、経費削減が図られました。
常任委員会協議会の公開 〔令和3年9月〕	当局と議会の調整の場であった常任委員会協議会は非公開でしたが、議会基本条例の考えに基づいて公開することにしました。
議案のホームページ公開 〔令和4年1月〕	タブレット端末の導入によって議案書などもデータ化されたため、市議会のホームページで公開できるようになりました。一般質問の通告内容、各会議の説明資料なども公開しています。
議員定数審議会の条例化 〔令和4年2月〕	復興が仕上げの段階となり、人口減少が深刻化する中、議員定数のあり方について議論を始めるため、審議会設置条例を制定しました。令和5年4月に審議会を設置し、議会としての結論を次期改選までに出すことにしています。
広報広聴委員会の設置 〔令和4年5月〕	「議会広報編集特別委員会」を「広報広聴委員会」に改組しました。議会だよりの編集だけでなく、議会報告会のとりまとめなども担うことで、市民と議会の架け橋となるようにしました。
政策提言等のガイドライン策定 〔令和4年12月〕	委員会でもまとめた政策提言を議会として市当局に提出するため、政策立案等に関するガイドライン(暫定版)を策定しました。令和5年9月には民生常任委員会でもまとめた障害者福祉に関する政策提言書を市長に初めて提出しました。
常任委員会議事録の公開 〔令和5年6月〕	議会のホームページの会議録検索システムでは本会議の議事録を公開していますが、常任委員会の議事録も「概要記録」として公開を始めました。